

白山小学校

見る・作る・楽しむ・・・白山島に伝わる伝統と文化を守り、白山の魅力を発信します！

新潟まつり

戦後、昭和22年8月23日、新潟市民は「住吉祭」「商工祭」「開港記念祭」「川開き」をそれぞれ復活させました。

昭和30年からは「新潟まつり」として4つの祭りを統合しました。

ステップ1 地域・まつりを知る



調査活動

小路ってあるけど、私たちよく知らないね。一体何だろう？



まつりを含めて地域を知らないだね。小路のことや伝統の木遣りも知りたいね。

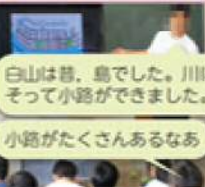
白山地域にはまつりがたくさんあるね。自分たちも参加してまつりを盛り上げようよ。

ゲストティーチャーによる講演

白山地域では、多くのまつりやイベントを行っています。

まつりについて知ってもらおうパンフレットを作ろうよ。

ゲストティーチャーによる講演



白山は昔、島でした。川にそって小路ができました。

小路がたくさんあるなあ

シティガイドさんとの調査活動



昔、白山は川から木や荷物を下ろしている場所でした。



大きな目立つ灯ろうを作って、みんなにまつりに興味をもってもらいようにしたいいいんじゃない。

地域の伝統 木遣りの学習



えんやらえ～

伝統の白山の木遣りをまつりで一緒に歌えるようになるぞ！



昔からの小路は、船と町を結ぶ大事な道でした。



白山島の小路の名前から昔の町の特徴が分かります。



製作活動

オリジナル巨大灯ろうの完成です！



ステップ2 まつりを盛り上げる

住吉行列



白山地区から万代地区を雄壮に練り歩きます。

白山地域のまつりは楽しいです。ぜひ一度見に来てください。



まつりで自分だけのオリジナルの灯ろうをつくることができます。



子どもみこし



手作りのパンフレットを用意して会場でお待ちしています。(白山小にもあります)

ぼくたちのアイデア灯ろうに古町鯛車・白龍が迎えます。



小路をたくさんの灯ろうが彩ります。

地域の方に習った伝統 白山木遣り



万代太鼓の演奏でそれぞれのまつりを盛り上げます。



千灯まつり



路地連新潟の野内さん

白山小学校の子どもたちに町遣りやまつりで自分たちの町を見て、聞いて、体験して、新潟の町を知ってもらうことで、彼らに地域のバトンを渡すことはできていると感じています。子どもたちがらのアイデアや活動こそ地域の力です。私も子どもたちと一緒にどんどん地域を盛り上げていきたいですね。

子どもの声



白山の地域のことを調べていくうちに、自分たちの地域には、まだまだ知らないことが多くあるんだということを知りました。そして、地域に昔からある公園や小路、建物など自慢できることがたくさん見つかりました。みんなで大事にしていきたいです。



白山地域に生活している自分たちは、地域の人に支えられていることが多くあります。そこで地域のために自分たちに何ができるかみんなで一生懸命に考えました。千灯まつりでは、自分たちの作った大灯ろうや発表などで、地域の大人たちに喜んでもらえてとてもよかったです。



地域には、昔からのまつりと今のまつりがあります。ぼくは両方のまつりに万代太鼓で参加してみて、どちらにもぎやかで、楽しい雰囲気がありました。まつりにはいろいろな人が集まって、自分たちの演奏を楽しんでくれました。木遣りとともに、伝統をしっかり引き継いでいけるようにしたいです。



新潟まつり住吉行列 八番組委員長の藤井さん

今年は、新潟まつり住吉行列で白山小の子どもたちが囃(まとい)をひいたり、子どもみこしを担いだりしてまつりを盛り上げてくれました。白山地域を調べる学習を通して、地域の歴史や文化にふれ、まつりで歌う木遣りを学んでくれたのは地域の伝統を受け継いでくれる意味で大変うれしいですね。この経験をとおしてますます地域やまつりへの愛着が深まってほしいです。



千灯まつり実行委員の白倉さん

子どもたちが熱心に活動に参加してくれました。学級で作った大灯ろうのほか、子どもたち一人一人が作ったたくさんの灯ろうがまつりを彩ってくれました。万代太鼓の演奏も大変迫力があり、見てる人の心にとても響きました。本町地区以外の人にもパンフレットでまつりをPRしてくれて、参加者も増えまつりが盛り上がりしました。自分たちでできることを考え、自主的に参加してくれてうれしいですね。